

# 平成25年度第2回「仙北市立病院等改革推進計画」検証市民委員会

## 議 事 録

◆日 時 平成26年1月14日（火）13：32～14：23

◆場 所 田沢湖健康増進センター 地域交流プラザ

◆出席者 【委員】委員長他5名  
【市】 両病院事務長等・医療局職員（事務局）

◆検証事項 1) 市立病院の平成25年度の上期の運営状況について  
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について  
3) その他

\*\*\*\*\*

### 1. 開会（13：32）

### 2. 医療局長あいさつ

新年あけましておめでとうございます。先週末からかなり寒い日が続いておりますけれども、今日はお集まりいただきましてありがとうございます。今司会の方から話がありましたが、管理者は昨年怪我をしまして年末に治療のための手術を受けたため、日程の調整がつかず明日にはこちらに来ますが、1日ずれてしまいこの会議に出席できません。誠に申し訳ございません。

本日は平成25年度上期についての検証を行っていただきたいということでございますので、どうかよろしく願いいたします。

### 3. 委員長あいさつ

新年を迎えまして、すでに14日でございます。皆さん家族おそろいでお正月を迎えたことと存じます。まずもってあけましておめでとうございます。

日中になりますと今日のようなお天気の感じが見えますが、朝夕は非常に寒い日が続いております。こうしたことで雪の量も非常に多くなってまいりました。そんな中で皆様におかれましては、毎日除雪、排雪あるいは雪おろし等で大変ご難儀していることと存じます。

一方では新聞報道によりますと雪のために非常に死亡事故あるいは怪我人が出ていると。この地域あるいは皆さん方の中から絶対に怪我のないような雪害対策、あるいは除雪対策について検討しながら十分な考えを持って臨んでいただきたいと思います。

今日は大変お忙しい中、また足元の悪い中、25年度の検証市民委員会の2回目のご案内をいたしましたところご出席を賜り本当にありがとうございます。

すでに、内容あるいは検証事項につきましては、昨年資料の配布をいたしております。それらに基づき説明を求めながら、今日の委員会を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。

#### **4. 検証事項**

委員長

本日の出席委員は6名であります。

それでは、直ちに会議を開きます。検証事項の第1「平成25年度上半期の運営状況」を議題といたします。説明を求めます。

##### **1) 市立病院の平成25年度上半期の運営状況について**

－資料説明（事務局：医療局）－

資料1 「平成25年度上半期仙北市病院事業の総括事項」

資料2 「平成25年度上半期仙北市病院事業の実績」

資料3 「両病院上半期年次別入院・外来患者数の実績」

資料4 「両病院等上半期地区別利用者数（入院・外来）の推移」

資料5 「両病院上半期収支決算の状況（過去3年分）」

委員長

検証事項の1については、説明が終わりました。皆さんの方から、ご質問等をいただきながら進めてまいりたいと思います。質問ございませんか。

委員長職務代理者

資料の表は、いつも市立角館総合病院、市立田沢湖病院それに仙北組合総合病院が3病院目として載るわけですが、横手市や秋田市等の他の病院の入院、外来の資料が載ってないのは、載せてもあまり意味のないのかあるいは資料がちゃんとそろわない等何か理由があるのですか。

医療局長

基本的には、2次医療圏と言って、秋田県で前の郡市単位で8つ設定しています。3次医療圏は秋田県全体で超高度医療を行うもので、秋田市中心で日赤や大学病院で行う高度な治療で、その手前の部分を2次医療圏として設定しています。

ここは、前の大曲・仙北地域で2次医療圏が設定されている。その中での比較、推移ということで当初設定したので、資料では2次医療圏の中核的病院の仙北組合総合病院と仙北市の2つの市立病院を中心に資料を提出しています。

さきほど話しました3次医療の病院になると、仙北市からの患者の分類が難しい

ため、資料としてなかなか整備出来ないのので、資料として提出しているのは2つの市立病院と仙北組合総合病院という形でやっています。

委員

病床利用率等いろいろな数字が出ていますが、角館総合病院の病床利用率は5月、6月、7月あたりが昨年度に比べると少なく推移してきたみたいですが、例えば今適正な数を見直ししたりして、ベッド数やスタッフの人数等勘案しているところだと思のですが、今後数年このままでいくと人口等の減少とか年齢に応じてのバランスがあると思います。そこはある程度見越して、このぐらいあればいいとか等分析をしているものでしょうか。

事務長（角館総合病院）

病床数につきましては、10月から295床から253床に大幅に減少しています。

新しい病院についても今の253床を206床にすることで、今後の人口の推移、これから高齢化は当然迎えなければいけない等様々なことを考慮して206床で新しい病院は建てようとしています。

今年度は、295床から253床まで42床減らしましたので、10月からの病床利用率については、かなり数字が上がっています。

委員

現在、仙北市の人口とそれから年齢別の比率とかもちろん仙北市以外の町村もある程度関係はしてくるでしょうけれども、その辺のこの後の動き等は分析しているのでしょうか。

事務長（角館総合病院）

平成47年まで人口推計しています。その中で27年の開業を目指していますが、まず10年後にどれぐらい仙北市で、医療の病床数が欲しいのかということから検討を始めて田沢湖病院とうちの方とありますので、その辺の割合も考えてうちの方の病床数を決定したという経緯です。

委員長

ここで（2）仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況についての説明を求めて、一括して質問を受けたいと思いますので、お願いいたします。

## 2) 仙北市立病院等推進計画の進捗状況について

－資料説明（医療局・事務局）－

資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

## 委員長

以上で（１）から（２）まで説明を求めたことですので、どちらでも結構です。合わせて質問するようにお願いいたします。

## 委員長職務代理者

資料６の８の検討中の項目ですが、私が来てからずっと検討中で市長さんが本院、分院化の凍結を表明しているという事情がずっとあったような気がしますが、今市長さんが２期目になって、いまだにこういうふうになって、角館の病院が新しくなると、本院と分院のリスクというかマイナス面、例えば学校だと分校はかなり大きなメリットがあるので、名前はともかくとして、第１病院、第２病院でもＡ病院でもいいけれども、セカンドになれない、ならない一番の理由はなんですか。

## 医療局長

市長の政治家としての判断ということだと思います。２期目就任してこの本院・分院の部分聞いたところ、本院・分院という名称は使わない。これについては市長の思いは変わってないということだった。

ただ病院がそれぞれ独立して動くのではなく仙北市全体の病院ということ、それから今角館病院の建て替えに伴って病床数を大幅に減らすという話をしましたが、田沢湖病院は現在６０床で、角館病院が改築で一般病床１７０あわせて２３０床の一般病床を仙北市全体の病院事業、医療の現場として連携を取って、活用するという思いだとたびたび言われています。

基本的には急性期の患者に対しては角館総合病院、慢性期の患者に対しては田沢湖病院という思いがあるということです。

## 委員長職務代理者

わかるような気がしますが、名前ですよね。本院と分院とハッと見たときにだいぶ受け止め方が違います。たぶん近くにあれば橋をつないで行ったり来たりするという市長さんのイメージだと思うのですが、本院・分院だと知らない人が見たらこの漢字は与えるイメージが市長さんと違うのかもしれないですね。わかりました。

## 委員

２ページの所に臨時職員の退職に歯止めをかけられずとあるのですが、歯止めをかけられない理由が何かありますか。

## 事務長（田沢湖病院）

去年の検証時にも説明させていただきましたが、業務量をこなすためには当然人手がかかるため、他の病院等を退職された方など手広く採用し、対応の業務量を受

け入れ出来たことはご存じのことだと思います。

いかんせん看護業務はきついため、退職理由の多くは本人の年齢と体力によるものですから、年齢による離職とお考えいただければと思います。

また、民間の福祉施設等でも看護師は不足してしまっていて、若くても退職し諸条件の良いところに行くというのが本音のようです。

そうなれば角館総合病院、田沢湖病院で出せる金額はほぼ同じにしていますので、それを超えてまでやることは懸念されますし、賃金体系や労働環境の上でも歯止めがかけられないという事情もあろうかと思えます。

委員

角館病院でも、臨時の方の離職は田沢湖みたいに多いのですか。

事務長（角館総合病院）

うちでも臨時職員、退職された方々もお願いしないと間に合わない状況ですので、現在従事していただいておりますが、たまたま離職されずにそのままお願いしています。

委員

今さら遅いかもかもしれませんが、先ほどの本院・分院とも若干重なる部分もありますが、新しく角館で病院が出来ることによって、例えば1枚のカードで両方の病院の受診が可能になるなど、簡素化というか効率的なことがカード以外の部分でもいいですが、何か出来たりするものですか。

委員長職務代理者

関連して、両病院を結ぶシャトルバスみたいな構想はゼロなものですか。

事務長（角館総合病院）

まずは受付のことですが、実際今うちの病院と田沢湖病院とシステムがまるっきり違いますので、もし統一するとすればそういう考えで進めなければいけません。いずれ今のシステムも年数が立っていますし、新しい病院になれば新しいシステムを入れるのですが、その時に田沢湖でも同じシステムを入れることが可能となると、設備投資しなければならない部分もありますので、なかなか実際的には難しいと思います。

ただそうなれば、様々な患者さんや市民の方々の利便性が高まることはたしかだとは思っています。

医療局長

シャトルバスの件ですが、今角館病院の建築にあたって、市議会で特別委員会を

設置して審議しています。その中で今のような話も出ています。ただ、病院事業でそのシャトルバスをやることは無理です。市としてスマイルバス、たっこちゃんバスみたいな地域公共交通の中で検討してもらいたいという部分はあります。

委員

本院・分院とありますが、初診料と再診料は料金として同じでしょうか。病院によって違うと思いますけれども。

医事課長（角館総合病院）

同じです。

医療局長

前回の話ですが、委員からデマンドタクシーで帰りはどこでも降ろしてもらえるという話でしたが、あれはルールとしてその路線の中であれば、運転手さんに言えばどこでも降ろすというのは決まっているそうです。

角館の町内についてはやっぱりどこでも止まる訳にはいかないみたいですが、それ以外は前の羽後交通のフリー乗車区間と同じように、ここで降ろしてくださいと言えば、その人の判断ではなくて、ルールとしてどこでもいいそうです。でも脇道にそれることは無理です。

ただ乗る所は、何処でもいいというのはなかなか難しいみたいです。担当に確認したらそういう回答でした。

委員

この間デマンドの運転手さんに聞いたら、今一人で動いていると言っていた。前は1往復したら交代していたが、今は何往復もしていて、冬道は大変だと言っていた。人がいないのか、上桧木内に来るのがいやなのか。

全然雪の質が違って、途中から雪の量もかなり違う。デマンドがあるおかげでみんな結構利用が多くなったようです。

委員

ぜいたくを言えば、もう少し本数が増ければいいのですが、ちょっと時間の間隔が開きすぎる。

委員

未収金対策で、集金に歩いていくらかでもお金になりますか。

医事課長（角館総合病院）

角館病院は、月2回定期的に地区を回っています。全地域をカバーするようにし

ています。一応病院の車で行きます。もらえなくても行きます。金額的にはそんなに多くないですが、毎月の収入はあります。ただ黙っているのではなく、病院で取りに来たという意味の徴収が多い。

たしかに困っている方はいます。ただもらえなくても病院が黙っているのではなく回ってきたという行動を見せるためにも月2回回っています。

総務管理係長（田沢湖病院）

田沢湖病院の患者は、だいたいは地元の何度でも来てくれる方ですので、その場で支払い出来なくても、次回受診した時にまとめて払ってもらえる方が多く、県外の方であれば預り金としていただき、後から精算する形で未収金の回収に努めています。

委員

病院の車で行くのは強みですね。

医事課長（角館総合病院）

嫌われる方もいます。もちろんそういう方には配慮して、別の車で行くこともあります。

委員

名前の入った車で来られれば、恥ずかしくて早く払わなければと思う。

医事課長（角館総合病院）

そういう場合もあります。ケースバイケースで対応しています。

事務長（角館総合病院）

基本的には身分をハッキリしていかなければいけないので、その辺は病院ということがハッキリわかるように集金に歩かないと、今いろいろな方々がいますので、ある程度身分をハッキリさせて回らせていただいています。

委員長職務代理者

明日行くとか連絡してから行くのですか。

医事課長（角館総合病院）

連絡してから行く方と行かない方がいます。居留守使われる方には逆効果になりますが、基本的には連絡してから行きます。

委員

今、保険に入っていないくて、全額自分で支払う人はいるものですか。

医事課長（角館総合病院）

今は、いません。

委員長

他に、ありませんか。質問がなければ打ち切りと思いたしますがいかがでしょうか。それでは検証事項1と2については検証済みといたします。

### 3) その他について

委員長

その他について、事務局からありましたらお願いします。

医療局長

こちらからは、特別ありません。

委員長

事務局からはないようですので、せっかくの機会ですので、もし差支えがなければ角館病院の新築移転の進捗状況について、公表していい範囲でお願いできればと思います。

事務長（角館総合病院）

今現在、基本設計が終わり、広報その他ホームページ等で基本設計を公開しています。模型についても皆さん来院された方々はお分かりだと思いたしますが、病院の玄関に飾っていて、患者さんからこういう病院が建つんだなと見てもらっています。

今実施設計を行っていて、春の完成を目指して作業の真っ最中です。用地につきましても、県その他農地の関係等様々ありますので、その手続きが終了次第売買契約を結びたいという形で進んでいます。

順調に進むように今鋭意努力しています。

委員長

新しい病院については、以上のような状況で進んでいるということです。

事務長（角館総合病院）

実際工事に入れば、いろいろ皆さんに見える状況になると思いたれるのですが、まだ時間も雪もありますので。



委員長職務代理者

まだ、鍬入れてないのですか。

事務長（角館総合病院）

まだです。それは春以降になりますので、よろしくおねがいします。

医療局長

まだ施工業者も決まっていませんので。そこが一番心配な所ですが。今なかなか公共工事が落札してもらえない、入札に 응じてもらえないという所もあるので。

委員

元の土地は、更地にしておしまいですか。何かにする予定はありますか。

事務長（角館総合病院）

古い病院については、将来的には解体して跡地利用については、まだはっきりしたことは決まっていないのですが、もしかして後ろの手術室などがある増築の部分は補助金等の関係で、若干残さなければいけない可能性はあります。

古い病院の部分については、老朽化している施設ですので、解体する計画です。跡地利用については、未定です。

委員

例えば住宅地として分譲という考えは。

事務長（角館総合病院）

そういうお話もいただきますが、様々な方がいて病院の跡地を住宅にという人もいますし、分譲してほしいという方々もいますし、その辺をいろいろな形で、一番有効に利用してもらえもしくは病院事業なのでその土地を売れるような形で処分できれば、ベストかなと考えています。

委員長

せっかくの機会ですので、その他で皆さんから何かあればよろしくお願ひします。

委員

私の近くに誰も入っていない医師住宅みたいなのがあるのですが。

事務長（角館総合病院）

あそこは今2人が入居していて、もう一つは地域の会館として無償でお貸しして

いますが、昭和40年代後半に建てたものをそろそろ解体しなければいけないと思っています。

市でも空き家対策等やっていますし、かなり老朽化して実際住めるような状況ではないのがありますので、それを26年度でどうにかしなきゃいけないなと検討して作業を進めているところです。

委員長職務代理者

田沢湖病院関係で、訪問看護とか訪問入浴とか訪問医療とかそういうものが進んできているみたいですが、角館とか他の病院はどうでしょうか。

事務長（角館総合病院）

訪問看護につきましては、仙北市に民間の業者が入りまして、そちらで実施することになっている。現在角館病院では訪問看護については、精神の方はやっているけれど、一般は民間の業者をお願いすることで25年度からスタートしています。

委員長職務代理者

いいシステムだなと思って。健康な人が動く方が動けない人が動くよりも将来的にいいなという感じを持ちました。

委員長

他にないようですので、検証事項の3もこれで終わりにしたいと思います。

それでは、閉じさせていただきます。

今日は本当にお忙しいところご出席を賜り検証いただきまして、誠にありがとうございました。

本日の日程はこれにて終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

（終了14：23）